

# 設 立 趣 旨 書

## 1 設立の趣旨

ミャンマーは、長い間、政治的な混乱と軍事政権が続いていた国です。2011年に軍事政権が解体され限定的な民主化が進んだものの、2021年に再び軍によるクーデターが発生し大混乱に陥りました。いまだ戦闘が止まず、不安定な情勢が続いており、もともと都市部と農村部には深刻な貧富の差が存在していた中で、情勢不安によりさらに困難な状況に陥ってしまった子どもたちや難民が増え続けております。また、新型コロナウイルス感染症拡大と経済活動の衰退により、多くの人々が失業や休業などの影響を受けたこともあり、必要な生活用品や食糧が確保できない世帯も急増しています。さらに、医療従事者を含む多くの市民が市民的不服従運動に参加し、国軍による医療従事者や医療ボランティアへの攻撃も発生したことから、病院やクリニックで安全な出産に必要な支援を受けられない妊婦が多くいます。

設立代表者である緒方や社員構成メンバーの数名は以前よりミャンマー問題を独自の方法で国内に発信してきた経緯があり、現在も取材を継続しております。これまで、日本でも度々報道はされてきておりましたが、世界の情勢は日々変化しており、日を追うごとに露出頻度が減ってます。現地の今を知っている私たちが思うことは、継続した人道支援、教育と医療の普及、人材育成の必要性です。これまでも援助国・支援団体からの緊急支援はありましたが、支援の届かない地域、不十分な地域が多く存在するのが現実です。

そこで私たちは、ミャンマー問題並びに国際平和の理解の促進及び啓発に関する事業、ミャンマー国内外の難民等に対する人道支援に関する事業を行い、メディアやSNS等を活用し、ミャンマーの今を広く知ってもらうために情報発信を継続的に実施致します。さらに私たちの活動を一般市民に広く知ってもらうための映像制作やイベントを実施し、賛助会員や寄付者を増やすことで、寄附金の送金を継続的に行って参ります。

また、ミャンマー国家再構築に向けた産業開発等の調査、研究、援助及び情報提供に関する事業、ミャンマーの若者に対する留学・就職支援等の人材育成に関する事業として、現地での現況調査、世論調査を行い、産業開発と発展を促進するための論文を発表、またミャンマーの次世代を担う人材育成を支援し、国際協力及びミャンマーの再生と発展に寄与して参ります。

開設にあたっては、契約締結の面など事業の遂行上法人格が必要となること、また協力団体・企業、支援者を増やし連携していくためには積極的に情報公開を行い社会的信用を高めていくことができる特定非営利活動法人が最適と考え、特定非営利活動法人BORDER ANGELSを設立することにしました。

当法人は、国内におけるミャンマー問題並びに国際平和の理解の促進、啓発活動を行うと共に、ミャンマー国内外の難民等に対する人道支援、産業開発研究支援及び若者に対する留学・就職支援等の人材育成に関する事業等を行い、国際協力及び国際平和の推進を図り、もって広く公益に寄与することを目的とし、社会に貢献していきたいと考えております。

## 2 申請に至るまでの経緯

令和5年11月7日午後1時より発起人会を開き、設立の趣旨、定款、会費及び財産、令和6年度及び令和7年度の事業計画、活動予算、役員のを審議し決定しました。

令和6年1月15日午後4時より設立総会を開き、発起人より設立の趣旨、定款、会費及び財産、令和6年度及び令和7年度の事業計画、活動予算、役員のを提案し、審議の上、決定しました。

以上をもって、特定非営利活動法人BORDER ANGELSの設立を申請することとしました。

令和6年1月15日

法人の名称  
特定非営利活動法人BORDER ANGELS

設立代表者 緒方 博史